



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月4日

上場会社名 アイホン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 和田 健

TEL 052-228-8181

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,589	6.4	2,474	74.6	2,431	67.4	1,893	50.3
2019年3月期第3四半期	32,496	2.0	1,417	4.6	1,452	7.1	1,259	26.3

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 2,418百万円 (375.2%) 2019年3月期第3四半期 508百万円 (△80.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	115.95	—
2019年3月期第3四半期	77.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	57,744	48,992	84.8
2019年3月期	57,497	47,314	82.3

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 48,992百万円 2019年3月期 47,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 8円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	4.7	2,900	6.9	2,900	1.7	2,200	△3.8	134.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	18,220,000 株	2019年3月期	18,220,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,875,637 株	2019年3月期	1,909,567 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,329,245 株	2019年3月期3Q	16,310,676 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、高水準の企業収益を背景に設備投資については堅調に推移し雇用環境についても改善が続きました。しかし、個人消費については消費税率引き上げ後の駆け込み需要の反動減が見られることや世界的な景気の減速懸念により、今後の先行きについては不透明な情勢にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、日本国内の新設住宅着工戸数は前年同期から減少いたしました。海外市場におきましては、米国は業務市場を中心にセキュリティニーズが高く、引き合いが増加いたしました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、引き続き新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は345億8千9百万円（前年同四半期連結累計期間比6.4%増）、営業利益は24億7千4百万円（同74.6%増）、経常利益は24億3千1百万円（同67.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、18億9千3百万円（同50.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS. A. S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ（タイランド）
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.

## (日本セグメント)

国内の住宅市場につきましては、戸建住宅におきまして、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から増加したものの、競争が激しさを増したことにより売上は微減いたしました。しかしながらリニューアルでは、ワイヤレステレビドアホンの販売が好調に推移したことにより売上は前年同期から増加し、戸建住宅市場全体としての売上は前年同期並となりました。

集合住宅につきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期からほぼ横ばいとなる中、売上におきましては前年同期から微増となりました。リニューアルでは、消費税増税前の駆け込み需要等の影響により第2四半期までの販売が大きく増加しており、第3四半期においてはその反動から販売が鈍化する動きも見られたものの、市場としては潜在的な需要が継続しており、売上は前年同期から増加いたしました。この結果、集合住宅市場全体としても売上は増加いたしました。

ケア市場につきましては、新築では高齢者住宅の販売が増加したものの、病院の新設着工件数が減少し、病院への販売が低迷したことなどにより売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは受注活動のプロセス管理強化やソリューション営業の推進により病院、高齢者施設、高齢者住宅において販売が増加し、売上は増加いたしました。この結果、ケア市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

これらの結果、日本セグメントの売上高は311億7千8百万円（前年同四半期連結累計期間比8.1%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響や経費削減等もあり19億3千5百万円（同138.1%増）となりました。

## (北米セグメント)

アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、社会的背景から学校や公共施設などにおけるセキュリティニーズがさらに高まる中、積極的な受注活動を行ったことが大型案件の受注にもつながり、IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、現地通貨では前年同期比で増加したものの、為替の影響を受け、売上高は57億5千7百万円（前年同四半期連結累計期間比0.1%減）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1億7千8百万円（同43.5%減）となりました。

## (欧州セグメント)

フランスの販売子会社であるアイホンS.A.S.につきましては、工事店に対する積極的な営業活動が功を奏し、戸建住宅において販売が好調に推移いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、IPネットワーク対応インターホンシステム及び集合住宅向けシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、現地通貨では前年同期比で増加したものの、為替の影響を受け、売上高は26億7千2百万円(前年同四半期連結累計期間比2.7%減)となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1千7百万円(同14.4%減)となりました。

## (タイセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ(タイランド)は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は59億1千6百万円(前年同四半期連結累計期間比2.6%減)となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり2億2百万円(同37.4%減)となりました。

## (ベトナムセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ(ベトナム)は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は24億8千1百万円(前年同四半期連結累計期間比16.8%増)となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1億1千3百万円(同2.4%増)となりました。

## (その他)

報告セグメントに含まれない販売子会社といたしまして、オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、戸建住宅へのWi-Fi対応テレビドアホンの販売及び業務市場へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE.につきましては、業務市場において大型案件へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、セグメントに含まれない販売子会社におきましては、売上高は6億8千9百万円(前年同四半期連結累計期間比6.3%増)、営業利益は3千万円(前年同四半期連結累計期間は営業損失2千9百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 業績の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は577億4千4百万円(前連結会計年度末574億9千7百万円)となり2億4千7百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が15億3千5百万円増加、有価証券及び投資有価証券が7億5千6百万円増加、現金及び預金が3億1百万円増加し、受取手形及び売掛金が24億2千9百万円減少したことなどによるものです。

負債は87億5千1百万円(前連結会計年度末101億8千2百万円)となり14億3千万円減少いたしました。これは主に、未払金が5億7千万円減少、未払法人税等が4億7千7百万円減少、買掛金が2億2千4百万円減少したことなどによるものです。

純資産は489億9千2百万円(前連結会計年度末473億1千4百万円)となり16億7千7百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が10億9千3百万円増加、その他有価証券評価差額金が3億4千1百万円増加、為替換算調整勘定が1億3千8百万円増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では2019年11月5日付「2020年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,645	15,946
受取手形及び売掛金	9,803	7,374
電子記録債権	2,122	2,275
有価証券	901	1,201
製品	4,302	5,722
仕掛品	1,820	1,802
原材料	3,495	3,628
その他	354	390
貸倒引当金	△68	△59
流動資産合計	38,375	38,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,037	6,099
減価償却累計額	△4,098	△4,238
建物及び構築物 (純額)	1,938	1,861
機械装置及び運搬具	1,993	2,163
減価償却累計額	△1,146	△1,142
機械装置及び運搬具 (純額)	847	1,021
工具、器具及び備品	7,533	7,573
減価償却累計額	△6,497	△6,652
工具、器具及び備品 (純額)	1,036	921
土地	5,002	5,004
リース資産	138	240
減価償却累計額	△50	△96
リース資産 (純額)	88	144
建設仮勘定	62	20
有形固定資産合計	8,976	8,972
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	7,065	7,521
繰延税金資産	1,662	1,515
その他	1,417	1,453
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,145	10,488
固定資産合計	19,121	19,461
資産合計	57,497	57,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	596	588
買掛金	1,789	1,565
リース債務	28	78
未払法人税等	701	223
製品保証引当金	290	237
賞与引当金	—	552
その他	4,347	3,026
流動負債合計	7,753	6,272
固定負債		
リース債務	66	71
再評価に係る繰延税金負債	118	118
退職給付に係る負債	362	418
その他	1,880	1,871
固定負債合計	2,428	2,479
負債合計	10,182	8,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,407	5,408
利益剰余金	37,640	38,733
自己株式	△3,274	△3,216
株主資本合計	45,162	46,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,865	2,206
土地再評価差額金	△438	△438
為替換算調整勘定	871	1,009
退職給付に係る調整累計額	△145	△100
その他の包括利益累計額合計	2,152	2,677
純資産合計	47,314	48,992
負債純資産合計	57,497	57,744

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	32,496	34,589
売上原価	17,695	18,822
売上総利益	14,801	15,767
販売費及び一般管理費	13,383	13,293
営業利益	1,417	2,474
営業外収益		
受取利息	31	30
受取配当金	130	135
受取家賃	36	38
その他	59	33
営業外収益合計	257	237
営業外費用		
支払利息	4	6
売上割引	170	182
為替差損	19	54
その他	27	37
営業外費用合計	222	280
経常利益	1,452	2,431
特別利益		
固定資産売却益	7	13
投資有価証券売却益	126	41
特別利益合計	134	55
特別損失		
固定資産売却損	3	5
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	7	5
税金等調整前四半期純利益	1,578	2,481
法人税等	319	587
四半期純利益	1,259	1,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,259	1,893

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,259	1,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△949	341
為替換算調整勘定	152	138
退職給付に係る調整額	46	45
その他の包括利益合計	△750	525
四半期包括利益	508	2,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508	2,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,398	5,719	2,729	—	—	31,847	649	32,496	—	32,496
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,441	41	16	6,074	2,123	13,697	—	13,697	△13,697	—
計	28,839	5,760	2,746	6,074	2,123	45,544	649	46,194	△13,697	32,496
セグメント利益 又は損失(△)	813	315	20	323	110	1,584	△29	1,554	△137	1,417

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポール並びに上海の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	25,503	5,729	2,670	—	—	33,903	685	34,589	—	34,589
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,675	27	1	5,916	2,481	14,102	3	14,106	△14,106	—
計	31,178	5,757	2,672	5,916	2,481	48,006	689	48,695	△14,106	34,589
セグメント利益	1,935	178	17	202	113	2,448	30	2,478	△4	2,474

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。